

令和 8 年 5 月 11 日

県内新設住宅着工戸数の令和 7 年度の状況 について

令和 7 年度の県内の新設住宅着工戸数は、前年度比 36.2%減の 3,783 戸となりました。その概要は次のとおりです。

令和 7 年度の新設住宅着工戸数について

本県の令和 7 年度の新設住宅着工戸数は 3,783 戸で、昨年度の 5,927 戸に比べてマイナス 2,144 戸、36.2%減となり、昨年度より減少する結果となりました。

利用関係別戸数の内訳をみると、持家が 24.6%減の 2,039 戸、貸家が 39.2%減の 1,305 戸、分譲住宅が 58.9%減の 425 戸となりました。

また、建方別の内訳では、一戸建が 23.6%減の 2,436 戸、長屋建が 46.0%減の 622 戸、共同住宅が 54.4%減の 725 戸となりました。

令和 7 年度の新設住宅着工戸数は、昨年 3 月の改正建築基準法施行前の駆け込み需要の反動減や建設コスト等物価上昇の影響を受け、昨年度から大きく減少しました。

今後の動向としては、中東情勢の緊迫化に伴う建築資材の価格上昇や納期遅延による影響を注視していく必要があります。

関連ファイル

- ・ 県内新設住宅着工戸数の令和 7 年度状況について 〈発表資料〉 (PDF : 616KB)
- ・ 県内新設住宅着工戸数の令和 7 年度状況について 〈表グラフ等〉 (PDF : 1,271KB)